

「職場体験を通じて職業について考えよう」

— 自らの生き方を求め、自己実現していくことをめざす気持ちを育てる —

岡山県浅口郡寄島町立寄島小学校教諭 佐藤敏子

事例の 位置付け	実施学年	◎第6学年	☆第6学年～中学校3学年
	教科等	総合的な学習の時間	☆総合的な学習の時間 ☆特別活動
	単元名	職場体験を通じて職業について考えよう。	

ねらい

- 1 職業調べや職場体験を通して、働いている人の苦労や工夫、働くことのすばらしさや意義を理解するとともに、自分の長所・短所や進路について考えて、今後の生活に生かすことができるようにする。

展開の特色

- 1 職業調べをする
 - ・身近な所から親の仕事、町内に見られる仕事調べをする。
 - ・図書室の本やインターネットで、自分の興味・関心のある職業調べをする。
 - ・調べた職業の発表会をすることによっていろいろな職業があることを知る。
 - ・それぞれの職業に特色があり、さまざまな工夫や苦労、やりがいや楽しみがあることを知る。
- 2 先輩の話を聞く
 - ・興味・関心だけでなく、自分の長所・短所を考えて自分の職業を選択したことを知る。
 - ・仕事の内容、専門職につくために大変な努力をしたことを知る。
 - ・仕事の楽しさや厳しさ、お客様からお金をいただく時のありがたさを知る。
 - ・今の経営にするまでには、大変な工夫や苦労があったことを知る。
 - ・お金を計画的に使って生活することが大切なことを知る。
- 3 職場体験する場所を決める
 - ・断られることを考えて第3希望まで考える。
 - ・電話交渉の仕方を考えさせ、相手の承諾を得て電話をスピーカーフォンにして、交渉の様子を観察する。
 - ・児童には内緒で、教師は前もって事業所に承諾の有無を確認しておく。
 - ・承諾していただけなかった事業所にも、断られるのも貴重な体験と考えて交渉させる。
- 4 職場体験実践日
 - ・職場までの往復は安全面を考えて、町内は徒歩で、町外は保護者に依頼する。
 - ・当日の指導は職場に任せて、教師は、体験の様子を観察したり、記録用の写真・ビデオ撮影をしたりして見回る。
 - ・「体験通知表」をお願いし、体験後に手渡していただくか送付していただく。
 - ・児童は帰宅後、学校に帰宅報告の電話をし、「自己体験評価カード」に反省を書く。

- ・事業所にお礼の手紙を書く。
- 5 振り返りをする（体験発表の資料作り）
 - ・この時間は特に十分時間をかける。
 - ・事業所からの「体験通知表」や「自己体験評価カード」から、しっかり自己を見つめさせる。
 - ・自分の長所や短所と進路の関連に気づき、今後の自分の将来設計の出発点になるようにする。
 - ・発表の資料は、「振り返りカード」を見ながら、体験前の各自の目的を想起させながら作る。
 - 6 体験発表会
 - ・参観日を利用し、自分で作った資料で友達や保護者の人に聞いていただく。
 - ・職場体験で学んだことと、両親の労働とそれで得たお金の重みについてしっかり理解する。
 - ・前年度取り組んだフリーマーケットの体験や、今回の体験をしてみても、お金を得るといことの大変さを知る。
 - ・保護者の方にも、子供の考えている将来について、どんな考え方をもっているか知っていただく。
 - ・労働の意義や、それで得たお金の値打ちを知って、親子で、これからの生活の仕方や、正しいお金の使い方などを話し合う。

構成

- 第1次 自分の興味や関心のある職業について調べる。（6時間）
- 第2次 先輩の話を聞き、職業について考える。（2時間）
- 第3次 職場体験をする場所を決める。（8時間）
- 第4次 職場体験を実施する。（6時間）
- 第5次 職場体験の実践を通して、学んだことを各自振り返り、発表資料にまとめる。（6時間）〈本時5/6〉
- 第6次 各自の職場体験を発表し、情報交換や意見交換を行う。（3時間）

次時の予告,用意

- ・次時に発表資料を完成させることを確認する。

本時の展開

本時の目標 職場体験を通して振り返った「苦労や工夫」「働くことのすばらしさ」「働くこととは（労働の意義）」について、必要な情報を整理し、相手意識をもって発表資料にまとめることができる。

	学習内容	学習活動
問題意識をもつ	① めあての確認	① 学習のめあてを確かめる。 職場体験を通して振り返ったことを友達に伝えるための資料を作ろう。

教師の支援, 指導上の留意点	資料
<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの職場体験の振り返りが、どの児童も十分にできていたことを称揚し、今度は、その振り返りを友達に伝えたいという意欲をもつことができるようにする。 ・自分の振り返りカードを見ることにより、どんな観点で職場体験を振り返ったかを意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくノート* ・職場体験振り返りカード ワークシート No.1 (→p.326)

※「わくわくノート」は本校の総合的な学習の時間用のノート。各自が自分の考えを書いたり、グループで計画を立てたり、ワークシートを貼付するなど、1年間の学習を記録するもの。

	学習内容	学習活動
追求する	② 資料作りの構想と材料・資料集め	② 資料の構想を練る。 ・伝えたい内容 ・紙面の計画（画用紙・模造紙・パソコンのどれですか） ・写真の入れ方
	③ 資料作り	③ 自分の構想に従って発表資料を作成する。 ・教室 ・コンピュータールーム
	④ 資料のでき具合の振り返り	
自分の学習を振り返る	⑤ 本時の学習の振り返り	④ 本時の活動を振り返り、次時の活動を知る。

教師の支援、指導上の留意点	資料
<ul style="list-style-type: none"> ・友達に何を伝えたいかを問いかけたり、資料の意味や資料作りに使える時間を知らせたりすることにより、構想を練りやすくする。 ・活動場所や学習の進め方、材料などを知らせ、構想を練ることのできた児童から準備に取りかかることができるようにする。その時、同じ職場で体験した友達と相談せずに個人で取り組むように指示する。 ・前時の連絡で、進んで構想を練ってきた児童がいれば、その構想をより具体的にしたり精選したりするよう指示し、机間相談によって個に応じた適切な支援をする。 ・資料に自分の体験している写真を取り入れたいという児童のために、あらかじめ教師が撮影した写真の一覧を掲示しておき、必要な写真を、本時ですぐに選ぶことができるようにしておく。 ◇構想が練りにくい児童には、何を伝えたいかを対話によって把握し、内容面を中心に助言する。 ・T₁(教室)・T₂(教室)・T₃(コンピュータールーム)の支援。 ・文字の大きさ、配色などについて適切な助言を与える。 ・進んでアドバイスを求めたり、資料を工夫したりしている児童を称揚する。 ◇資料が発表原稿のように文字を中心にまとめようとしている児童に対しては、資料の意味を再度知らせ、早い段階で修正できるように支援する。 ◇コンピューターで資料を作っている児童で、操作に手間どっている場合には、操作の補助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・模造紙 ・職場体験中に撮影した、デジカメ写真・写真一覧表
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の資料の進み具合や内容面について各自で振り返る。 ・数人の資料を示すことによって、自分の資料のよい点や問題点に気づくことができるようにする。 ・次時の1時間で発表資料を完成させることを確認する。 	

評価の観点

本時は技能・表現（目的に応じてさまざまな方法で情報を収集したり、相手意識をもって資料にまとめたりすることができる。）にポイントをおいて評価した。

評価資料としては、本時で作成した発表資料を見て、目標に掲げている「苦労や工夫」「働くことのすばらしさ」「働くこととは(労働の意義)」の三つの観点にもとづいて振り返りの資料ができているかどうかで、次のようにABCの3段階で評価した。

- A 振り返った内容を三つの観点全てについて分かりやすく整理して資料にまとめている。
- B 振り返った内容のうち、二つの観点について分かりやすく整理して資料にまとめている。
- C 振り返った内容のうち、一つの観点しか書けず、資料も整理してまとめられていない。

参考資料

- ☆ 武長脩行著、こどもくらぶ編『中学生・高校生のための金銭感覚養成講座』同友館、2003年
- ☆ エードリアン・Gバーク&アーサーバーク・ボシュナー『子どもに教えたいお金の話』PHP研究所、2002年

<仕事に関する本>

- ☆ ヴィットインターナショナル編『知りたい!なりたい!職業ガイド』ほるぷ出版
 - ・音楽に関わる仕事
 - ・コンピュータに関わる仕事
 - ・土と親しむ仕事
 - ・視覚表現にする仕事
 - ・アニメーションの仕事
 - ・生活の安全を守る仕事
 - ・生活の安全を守る仕事
 - ・教える仕事
 - ・自然とかわる仕事
 - ・美容に関わる仕事
 - ・健康を守る仕事
 - ・福祉にかかわる仕事
 - ・食べ物にかかわる仕事
- ☆ マーガレット・ホール著、(財)消費者教育支援センター日本語版監修『お金のひみつ、知ってる?』文溪堂、2002年
- ☆ NHK「課外授業ようこそ先輩」制作グループ『課外授業 ようこそ先輩』第1～第4巻 KTC中央出版



資料1

様

平成 年 月 日

〇〇小学校長 〇〇 〇〇

職場体験のお願い

朝夕はようやくしのぎやすくなりました。皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、この度は、本校の6年生の1日仕事体験に格段のご理解を賜り、ご協力いただくことになり、衷心より感謝申し上げます。

〇〇小学校では、総合学習(子どもたちが、自ら夢や願いの実現に向かって、直面する様々な問題に対して全力で考え、解決していく学習)の研究を以前から進めて参りました。

今年度、6年生は「職場体験をしよう」というテーマで、次の3点をねらって総合学習に取り組んでおります。

- ① いろいろな職業のそれぞれの価値に気付いたり、地域の産業について関心をもったりする。
- ② 自分の将来について考えるとともに、今の生活を見つめ直すことができる。
- ③ 仕事の体験を通して、相手の立場に立った行動の大切さや、労働の厳しさ・勤労のすばらしさに気付くことができる。

職場体験当日は、お忙しいところ大変迷惑をおかけいたしますが、子どもたちにとっては、その日の体験すべてが、この上ない学習になると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、子どもではありますが、従業員という立場で接していただきますようお願いいたします。さらに、大変ご無理なお願いではございますが、子どもたちの反省に役立てるために、別紙の「仕事通知表」を当日子どもに持たせたいと思います。項目によっては書きにくい項目もあると思いますが、可能な範囲でご記入いただきたいと思います。「仕事通知表」は、帰りに子どもに渡していただくか、後日〇〇小学校へご返送くださいますようお願いいたします。

なお、緊急な連絡やご相談などがございましたら、下記にお願いいたします。

〇〇小学校 (Tel:)
6年担任
〇〇 〇〇 , 〇〇 〇〇 , 〇〇 〇〇



資料2

体験自己評価カード

体験場所〔 〕

月 日 組 名前()

感想・反省

◎よい ○ふつう △もう少しの
あてはまる物を()に記入してください。

- ①あいさつはできましたか。()
- ②返事はきちんとできましたか。()
- ③言葉づかいはよかったですか。()
- ④一生懸命働きましたか。()
- ⑤言われたことがきちんとできましたか。()



資料3

仕事通知票

名前()

☆その他良かったことや困ったことなど、お気づきのことがありましたら書いてください。

体験場所〔 〕

◎よい ○ふつう △もう少しの
あてはまる物を()に記入してください。

- ①あいさつはできましたか。()
- ②返事はどうでしたか。()
- ③言葉づかいはよかったですか。()
- ④一生懸命働きましたか。()
- ⑤言われたことがきちんとできましたか。()

ご面倒をおかけしますが、書けましたら同封の封筒に入れて〇〇小学校までご郵送ください。
また、子供にことづけてくださっても結構です。
連絡先 〇〇小学校(Tel:)

ワークシート No. 1

職場体験振り返りカード

小学校 年 組 名前()

体験場所 []
日 時 平成 年 月 日(曜日)
時 分~ 時 分

① この職場体験を終えて、職場の「苦労や工夫」についてどんなことが分かりましたか。

[Blank box for answer 1]

② この職場体験を終えて、「働くことのすばらしさ」とはどんなことだと思いますか。

[Blank box for answer 2]

③ この職場体験を終えて「働くこと」に対する自分の考えを書きましょう。

[Blank box for answer 3]

④ 自分を見つめ直して、今後自分の生活をどのようにしたらよいと思っていますか。

[Blank box for answer 4]

⑤ この職場体験を終えて、自分の選んだ仕事は自分に適していたと思いますか。
(はい・いいえ)その理由も書きましょう。

[Blank box for answer 5]

⑥ この職場体験を通して自分の進路について考えたことを書きましょう。

[Blank box for answer 6]

⑦ 職場体験について、家の方の感想や意見を書いてもらいましょう。

[Blank box for answer 7]

ワークシート No. 2

職場体験発表会・感想カード

月 日 組 名前()

① 友達の発表や家の方の感想などを聞いて、「自分自身」や「今後の生活」に関して、つけ加えたいことや考え直したいことを書きましょう。

[Large blank box for answer 1]

② 友達の発表や家の方の話を聞いて、「働くということ」についてまとめましょう。

[Large blank box for answer 2]